

令和元年度 葉山町学びづくり研究推進事業

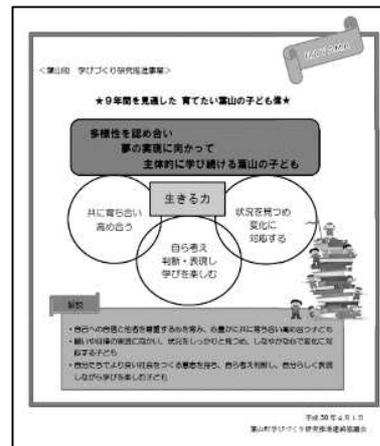
葉山町教育委員会

葉山町では平成 27 年度より、町独自の取組として葉山町学びづくり研究推進事業を実施してきました。そして昨年度より、かながわ学びづくり推進地域研究委託事業を受託しました。本町では、「9 年間を見通した育てたい葉山の子ども像」をもとに、義務教育9年間を見通した教育の実践と「確かな学力」の向上を目指した取組を行っています。

また、各校の研究成果を町全体へ普及するために、教職員、学校管理職、指導主事で構成される「葉山町学びづくり研究推進連絡協議会」を設置し、情報交換や協議を行っています。

今年度、連絡協議会では「葉山町学びづくりハンドブック【第2版】」を作成しました。これは、各小・中学校における学びづくりの取組で得られた成果や、葉山町の教職員の教育実践が取りまとめられており、授業準備や指導の参考となるものです。

各校においては、講師を招いた研修を行い、校内研究の活性化を図っています。特に今年度拠点校の一色小学校、葉山中学校では、複数回講師を招聘し、授業改善に向けた研究を積み重ねてきました。その成果は、研究発表会を通して町内の小・中学校へ発信されました。



拠点校① 葉山町立一色小学校

一色小学校では、「主体的に活動する児童の育成～外国語を楽しみながら伝え合う喜びを味わう児童の姿をめざして～」という研究テーマで3年間にわたり外国語活動・外国語の校内研究が行われ、11月15日（金）に、研究発表会が開催されました。

4年生は、英語の小文字の学習でした。冒頭で、先生はアルファベットの小文字を板書しますが、右の写真のように、bとdなど似ている文字を間違えて書きます。子どもたちが思わず間違いを指摘したくなる、授業者の工夫でした。「考えなくなる」「伝えなくなる」工夫がたくさんある授業で、子どもたちは、たっぴりとアルファベットに慣れ親しんでいました。また、学習のめあてが提示され、振り返りを行うシートも用意されており、児童自身が自己評価しつつ、学びを進めていました。



拠点校② 葉山町立葉山中学校

葉山中学校では、研究テーマ「深い学びを実現する指導の工夫～生徒の主体的な言語活動を中心とした授業づくりを通して～」のもと、教科の壁を超えた校内研究が続けられています。10月31日（木）には研究発表会が開催され、社会科と理科の授業が公開されました。

社会科は、一人ひとりが「持続可能な葉山町にしていくための提言」を考える学習でした。生徒は、様々な資料から集めた情報を根拠としながら提言を考え、さらに思考ツールを活用して、互いの提言を評価していました。助言者からは、社会参画の視点を取り入れること、子どもたちが見通しや必要性をもって学ぶことの大切さについて助言をいただきました。

講師の横浜国立大学の青山教授からは、葉山中の教員集団は、教科の壁を超えて「学ぶ集団」となっていること、情熱をもって研究を行っていること、事後協議の様子が、児童生徒と同様に「学びあい」となっていることについて評価していただきました。



拠点校以外の学校の研究テーマ

| 学校名 | 研究テーマ（教科） |
|--------|--|
| 葉山小学校 | 自分も人も大切にできる子～互いのよさを認め合い、思いやりの心を育成する授業の工夫～（道徳科） |
| 上山口小学校 | つながりあい高めあう子どもを目指して～聴き・考え・表現する子～ |
| 長柄小学校 | 上手な学級経営～技を集めて腕を磨き、教師力をチーム全体でアップさせよう～ |
| 南郷中学校 | 主体的・対話的で深い学びへのアプローチ～学校全体で作っていく、『分かる』ことの質的改善～ |